

佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 基本目標評価シート

令和6年8月6日(火)実施 佐野市まち・ひと・しごと創生懇談会委員意見反映版

令和6年9月20日(金)
佐野市まち・ひと・しごと創生本部

※達成状況 ◎:R5年度の達成状況が100%以上 ○:R5年度の達成状況が50%以上、100%未満 △:R5年度の達成状況が50%未満

基本目標1	数値目標		基準値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		最終年目標 値 (R6年度)	達成状況	達成度(%)
					実績値		実績値		実績値		実績値			
支 安 え 定 し た 人 才 を 育 と て つ く か り す、	従業者数 (事業所単位)(人) (出典＝RESAS)		54,618 (H28年)					54,287 (R3年)				55,000 (R4年)		
	一人あたりの市民所得(年間・千円) (出典＝栃木県市町村民経済計算(栃木県統計課調べ))		3,086 (H28年度)		3,203 (H29年度)		3,203 (H30年度)		3,150 (R元年度)		2,923 (R2年度)	3,301 (R4年度)		
	具体的施策	KPI(重要業績評価指標)	基準値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		最終年目標 値 (令和6年度)	達成状況	達成度(%)
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値			
	地域での多様な働き方 やしごとづくりを応援する 体制の強化	創業件数 (単年・本社市内) (市民税課調べ)	96 (H30年度)	101	114	106	98	111	166	116	102	120	○	87.9
	地域資源を活かした競 争力のある地域産業の 振興	製造品出荷額等 (千万円・年間) (出典＝RESAS)	3,875億3千万円 (H29年)	3,914億円 (H30年)	4,162億8千万円 (H30年)	3,953億1千万円 (R1年)	4,078億6千万円 (R1年)	3,992億7千万円 (R2年)	4,327億7千万円 (R2年)	4,032億6千万円 (R3年)	未公表	4,072億9千万円 (R4年)	－	－
		有形固定資産投資総額 (千万円・年間) (出典＝工業統計調査)	226億6千万円 (H29年)	230億2千万円 (H30年)	152億6千万円 (H30年)	233億9千万円 (R1年)	170億5千万円 (R1年)	237億6千万円 (R2年)	173億3千万円 (R2年)	241億4千万円 (R3年)	106億3千万円 (R3年)	245億3千万円 (R4年)	△	44.0
	都市型農業の推進と農 業の成長産業化	農業産出額(推計) (千万円・年間) (出典＝RESAS)	53億7千万 円 (H29)	54億2千万円 (H30)	53億9千万円 (H30)	54億7千万円 (R1)	47億7千万円 (R1)	55億2千万円 (R2)	46億7千万円 (R2)	55億7千万円 (R3)	40億3千万円 (R3)	56億2千万円 (R4)	○	72.4
農業生産関連事業の実施割合 (出典＝RESAS)		19.53% (H27)	－	24.3% (R2速報値)	－	25.3% (R2値)	－	25.3% (R2値)	23% (R2)	25.3% (R2値)	23% (R2)	◎	108.7	
高等学校・大学等にお ける地域で活躍する新 たな人材の育成	本事業に参加した生徒・学生数(人・単年)	－	20	42	40	43	60	72	80	67	100	○	83.8	
事業評価	☐ 地方創生に非常に効果的であった		例:全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合										評価 委員 数	1
	☐ 地方創生に相当程度効果があった		例:一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合											5
	☐ 地方創生に効果があった		例:KPI達成状況は芳しくなかったものの、取組が前進・改善したとみなせる場合											9
	☐ 地方創生に対して効果がなかった		例:KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合											1
委員意見欄	【主な意見・内容】 ・事業に参加した学生数が増加しており、若い人たちも地域への興味を持つようになったと感じた。 ・高校卒業のタイミングで佐野をいったんは離れる若者が多いことから、中学・高校在学のタイミングで佐野の魅力を伝える取り組みを増やしてもいいのでは。 ・20代女性の転出が多く、かつ戻ってきていないと聞く。 産業構造が変わってきており、東京に近いこと、ネット環境が充実していること、AI等技術が飛躍的に進歩してきていることを踏まえ、若い女性が働ける・輝ける環境づくりにシフトすることも必要かと思う。 ・創業について単年度では未達だが、初年度から安定した実績値を維持しており、取組の定着が評価できる。 特に「創業するなら佐野で！」のキャッチフレーズで市を挙げての創業気運の醸成を図っており、関係機関ネットワークを活用して取組推進したい。 ・雇用創出のためハード面、ソフト施策を進めて欲しい。農業における耕作放棄地の解消や新規就農・親元就農者への事業を引き続きお願いする。 ・令和5年度は4項目で前年比減になっており、その分析を行う必要がある。 ・数値目標は数値が毎年でないので評価できない													

※達成状況 ◎:R5年度の達成状況が100%以上 ○:R5年度の達成状況が50%以上、100%未満 △:R5年度の達成状況が50%未満

基本目標2		数値目標		基準値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		最終年目標 値 (R6年度)	達成状況	達成度(%)	
						実績値		実績値		実績値		実績値				
新しい人の 流れをつくる	社会動態の人口増減数(累計)(人) (出典＝住民基本台帳のうち職権消除等を除く)		107			398					104		314	600 (R2年～6年度) (累計)		
	滞在人口(平日) (1日当たり平均)(人) (出典＝RESAS)		98,956 (H30年)			98,987					96,570 (R4年)		96,124 (R5上半期)	100,000 (R5年)		
	滞在人口(休日) (1日当たり平均)(人) (出典＝RESAS)		107,765 (H30年)			105,967					104,744 (R3年)		104,896 (R5上半期)	110,000 (R5年)		
	具体的施策	KPI(重要業績評価指標)	基準値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		最終年目標 値 (令和6年度)	達成状況	達成度(%)		
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値					
	「住んでよし、訪れてよし」 佐野市 シティプロモーション	さのまるX(旧:ツイッター)フォロワー数	29,175 (H30年度末)	32,000	34,705	34,000	36,418	36,000	39,017	38,000	40,754	40,000	◎	107.2		
		年間観光入込客数(千人)	8,741 (H30)	9,300	6,474	9,700	6,503	10,000	6,429	10,000	7,133	10,000	○	71.3		
	UIターンと定住の促進	市外からの移住者数 (転入者へのアンケートで把握できた数)	525人 (H26～H30累 計)	150(単年)	115	150(単年)	131	150(単年)	149	150(単年)	193	750 (R2～R6年累計)	◎	128.7		
		転入者数 (単年・外国人含む総数、各年1/1～12/31)	3,422 (H30度)	3,491	3,443 (R1)	3,554	3,373 (R2)	3,619	3,137 (R3)	3,684	3,523 (R4)	3,800	○	95.6		
	移住者受け入れ態勢の 整備	移住相談件数 (単年・件)	162件 (H30年度)	250	294	270	430	280	481	290	533	300	◎	183.8		
		空き家バンク提供物件登録数(累計・件)	65件 (H30年度 末)	95	112	125	129	155	147	185	166	215	○	89.7		
	「関係人口」の創出・拡 充	ふるさと納税受付数(単年・市外のみ)	1,188 (H30度)	8,000	6,089	9,000	71,280	10,000	109,085	11,000	170,572	12,000	◎	1550.7		
「佐藤の会」会員数 (累計・人)		—	3,000	2,605	5,000	4,093	7,000	6,387	9,000	7,608	10,000	○	84.5			
事業評価	□ 地方創生に非常に効果的であった		例:全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合											評価 委員 数	3	
	□ 地方創生に相当程度効果があった		例:一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合												11	
	□ 地方創生に効果があった		例:KPI達成状況は芳しくなかったものの、取組が前進・改善したとみなせる場合												2	
	□ 地方創生に対して効果がなかった		例:KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合												0	
委員意見欄	【主な意見・内容】 ・さのまるを活用したプロモーションは効果的なPRができている。引き続き佐野市の魅力を感じられる情報発信を期待したい。 ・さのまるXフォロワー数は多いが、Instagram、tiktokの利用者が増えているため、Xに限らず捉えてはどうか。 ・移住相談件数が伸びているが、移住者増加までには十分結びついていない。 ・移住者支援策の充実、受入れ体制の整備強化や、佐野市の魅力、認知度向上のための取組が重要。 ・「住む」「働く」「憩う」の魅力度アップ、特に働き方をどう提供できるか。子育て施策に偏ることなく施策間連携が必要。 ・外国人との共存共生は新しい課題である。外国人雇用は欠かせない状況である。 ・外国人の暮らしやすいまちづくり、受入れ体制、受入れに係る市民のコンセンサス形成、コミュニティの定着化が必要。 ・移住先の受け皿として空き家バンク登録件数を増やしていく必要あり。 ・観光入込客数のうちリピーター数を探る、日本人と外国人を分けた数値などを指標にしてはどうか。															

※達成状況 ◎:R5年度の達成状況が100%以上 ○:R5年度の達成状況が50%以上、100%未満 △:R5年度の達成状況が50%未満

基本目標3	数値目標		基準値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		最終年目標値 (R6年度)	達成状況	達成度(%)
					実績値		実績値		実績値		実績値			
結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえ、女性が輝く地域社会をつくる	婚姻数(単年) (出典＝栃木県保健年報)		528 (H29年度)		449 (令和元年)		458 (令和2年)		425 (令和3年)		366 (令和4年)	540件 (R5年)		
	合計特殊出生率 (出典＝栃木県保健年報)		1.38 (H29年)		1.33		1.20 (令和2年)		1.26 (令和3年)		1.14 (令和4年)	1.64 (R5年)		
	具体的施策	KPI(重要業績評価指標)	戦略策定前	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		最終年目標値 (令和6年度)	達成状況	達成度(%)
	結婚・妊娠・出産の支援	出生数(人) 外国人を含む総数	777 (H30年)	793	673	809	684	825	626	841	604	857 (R6年度)	○	71.8
		子育てを楽しんでいる市民の割合(%) ※未就学児(出典:市政に関するアンケート調査)	95.0 (H30年度)	95.0	91.1	96.0	95.3	97.0	97.6	97.0	93.7	98.0	○	96.6
	安心して子育てができる環境づくり	子育てに負担や不安を感じている市民の割合(%) ※未就学児(出典:市政に関するアンケート調査)	65.9 (H30度)	64.0	75.9	63.0	69.4	62.0	78.8	61.0	83.3	60.0	△	42.8
		保育所待機児童数 (毎年度4月1日現在)	5人 (H30度)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	◎	100.0
	女性が活躍するまちづくり	女性の事業主(人) (個人・法人問わず) (出典:商工会議所調べ)	219 (H30年度)	220	246	225	295	230	349	240	359	270 (R6年度)	◎	149.6
20～39歳の女性の転入者数(人) (単年・外国人含む総数) (出典:住民基本台帳)		862 (H30)	900	771	925	787	950	849	970	795	1,000	○	82.0	
事業評価	□ 地方創生に非常に効果的であった		例:全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合										評価委員数	1
	□ 地方創生に相当程度効果があった		例:一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合											5
	□ 地方創生に効果があった		例:KPI達成状況は芳しくなかったものの、取組が前進・改善したとみなせる場合											9
	□ 地方創生に対して効果がなかった		例:KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合											1
委員意見欄	【主な意見・内容】 ・人口減少を抑えながら、2060年の人口目標である8万5千人を目指した都市づくりを行っていくべき。 ・女性事業主が増加していることは評価できる。働き方の多様化を通じて、創業支援も含め引き続き支援していく。 ・安心して子育てができる環境づくりの強化と女性が活躍するまちづくりの支援を進めて欲しい ・女性に限らずすべての人が活躍できるまちを目指すべき。結婚しなくても同性でも外国人でも、高齢者、障がい者でも暮らしやすいまちづくりを。 ・婚活イベントのPR強化、企業等と連携して参加者増を図ってはどうか。 ・全体として人口を増やす施策は続けていくべき。外国人の転入増ではなく日本人の自然増を図る施策を。 ・女性活躍のまちづくりなど伸びしろが大きいと考えられる指標は野心的な数値に改めてもよい ・目標自体に無理がある。数値目標は必ずしも上昇目標としなくても良いのではないか(婚姻数、出生率)。 ・「子育てに不安」という否定的なものでなく肯定的なものとするなど数値の捉え方を見直してはどうか。													

※達成状況 ◎:R5年度の達成状況が100%以上 ○:R5年度の達成状況が50%以上、100%未満 △:R5年度の達成状況が50%未満

基本目標4	数値目標		基準値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		最終年目標値 (R6年度)	達成状況	達成度(%)
					実績値		実績値		実績値		実績値			
時代に あつた 地域をつ くり、安 心な暮ら しを守る	これから佐野市に住み続けたいと思う市民の割合(%) ※市政アンケートより		77.8 (H30年度)		80.3		77.7		78.7		76.6	90.0		
	具体的施策	KPI(重要業績評価指標)	戦略策定前	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		最終年目標 値 (令和6年度)	達成状況	達成度(%)
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値			
	コンパクト・プラス・ネット ワーク(いもフライ型都 市構造)の推進	生活路線バス利用者数 (年間延べ利用者数)(交通政策課調べ)	142,323 (H30度)	145,158	87,239	147,993	120,156	150,828	155,691	153,663	178,443	156,500	◎	116.1
		中心市街地における人口割合 (中心市街地の人口／総人口)(住民基本台帳調 べ)	6.12 (H31.1.1)	6.13	5.96	6.14	5.97	6.16	5.99	6.18	5.94	6.20	○	96.1
	地域とともに誰もがいき いきと活動できる環境づ くり	市民活動に参加したことのある市民の割合(%) (出典:市政に関するアンケート調査)	59.9 (H30年度)	72.0	64.6	73.0	64.1	67.0	67.0	70.0	65.4	72.0	○	93.4
	国土強靱化の推進	国土強靱化地域計画における成果指標の達成率	－	70.0	20.0	70.0	34.5	75.0	47.0	75.0	46.9	80.0	○	62.5
	まちづくり連携体制の推 進	連携協定締結数	9	12	10	15	10	18	13	19	13	20	○	68.4
		連携事業等による事業本数	－	2	4	3	5	5	11	6	12	8	◎	200.0
	持続可能なまちづくりの 推進	総合計画においてSDGsの基本目標を位置付けた 数	0	0	0	15	17	15	17	15	17	15	◎	113.3
経常収支比率		87.1 (H30年度決算)	90%以下	89.5	90%以下	89.3	90%以下	92.1	90%以下	－	90%以下	－	－	
事業評価	□ 地方創生に非常に効果的であった		例:全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合										評価 委員 数	0
	□ 地方創生に相当程度効果があつた		例:一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合											8
	□ 地方創生に効果があつた		例:KPI達成状況は芳しくなかったものの、取組が前進・改善したとみなせる場合											7
	□ 地方創生に対して効果がなかった		例:KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合											1
委員意見欄	【主な意見・内容】 ・労働力人口が減少する中では高齢者の活躍がポイントと考える。交通インフラの充実はそういった部分からも有効と思われる。 ・市民活動や連携事業など一層の推進が必要と感じる。 ・施策自体が国からの指示、現状の課題への対策等、汲々として余裕がなく、施策推進に追われている印象がある。 ・佐野市として何を目指していくのか、抽象的ではない、具体的な方向性を示せないだろうか。「形だけのKPI」ではなくて、実質的なKPIを設定してはいかがか。 ・外国人の労働問題(労働時間・労働環境)などの管理はどうなっているか。住民等とのトラブルはないのだろうか。 ・SDGsは啓発から具体的な取組の実行へシフトすべき。 ・まちづくり連携体制の強化が一番重要と考えている。時代に合った街になるために多くの知恵や工夫をもって取り組むことで、より改善していくと思う。 ・指標から中身が見えないため市民の声や満足度を測ってはどうか。													